

株式会社中北製作所

製造

輸送・貯蔵

利用

水素関連
製品の
研究開
発・製造

部品・
材 料

評価・
分 析

工事・
建設・
施 設
管 理

ここに注目！

多品種少量生産、個別受注生産で顧客に寄り添った
モノづくり
バルブを中心とした流体制御システムの総合メーカー

1930年の創業以来、船舶・発電・製鉄・原子力などに向け、バルブを中心とした流体制御システムを提供。一品一様のモノづくりにこだわっています。独自開発の大型タンカー向けバタフライバルブは、これまでの常識を覆す小型・軽量かつ漏れゼロを実現し、世界中のタンカーに採用されています。これまで培ってきた技術力は様々な産業分野における高温・高圧または極低温の環境下で精密な制御を求められる、厳しい仕様要求に応えるモノづくりへと進化しています。

技術・サービスの強み

時代に先駆けた水素用バルブを一品ごとのオーダーメイドで開発・設計・製造を行い、これらの品質管理に取り組んできました。1970年後半頃からは、精製装置・液化装置やロケット発射設備の燃料供給ラインへ液体水素を使用流体とするバルブをいち早く納入。ガス・液など、あらゆる状態の水素も制御可能なバルブを開発しています。多品種少量の個別受注生産が可能にした豊富なラインナップを維持しつつ、CAEなどのデジタル技術を積極活用しています。高温から極低温まで幅広い仕様に対応するバルブ開発をスピーディーかつ製品のQCDを高めたモノづくりで推進します。



▲液体水素用のバタフライ弁(実液試験用試作品)と調節弁



▲水素用の遮断弁、調節弁、安全弁

導入事例・実績

ロケットの燃料供給ラインに使用される-253℃の液体水素を制御する調節弁や遮断弁を開発・製造。そのほか発電所、ガス、化学プラントなどに使用される水素ラインの安全弁や遮断弁、調節弁などの納入実績があります。

事業計画

水素の社会実装に向け、大規模サプライチェーン構築に係る開発をNEDO「水素社会構築技術開発事業/液化水素用大口径バタフライバルブの技術開発」で実施し、仕様ラインナップ拡充に向けた製品開発を進めています。輸送・貯蔵だけでなく、製造や利用といった水素バリューチェーン全体の構築を多様なバルブで貢献し続けます。

企業プロフィール

所在地：〒574-8691
大阪府大東市深野南町1番1号
代表者：宮田 彰久

資本金：1,150百万円
設立：1930年5月
TEL：072-871-1331

担当部署

部署名：技術本部 開発設計室
TEL：072-871-6003
e-mail：ono@nakakita-s.co.jp

<https://www.nakakita-s.co.jp/>